

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

人々の暮らしを安全・快適にする技術や製品を提供し、社会に貢献するカヤバグループ

売上高
4,700億円

セグメント利益率
8.0%以上

自己資本比率
45.0%以上

ROE
12.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. 収益性の改善

HC事業でグローバル生産体制を最適化。知多鋼業の完全子会社化でサプライチェーン強靱化と原価低減を推進

3. AC事業の強化

電子制御製品ラインナップ拡充、ステアバイワイヤシステム技術深耕、電動ポンプ開発で電動化対応

2. 成長戦略

インドにショックアブソーバ生産拠点設立。グローバル最安コストの製品づくりでOEM・市販ビジネス展開

4. HC事業の競争力強化

シリンダ・モータの生産体制整備、ポンプ・バルブのラインナップ拡充、電動化・自動化製品の早期投入

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ 国際情勢不安定、原材料・エネルギー価格高騰への対応
- ・ 米国関税措置など地政学リスク対策
- ・ 建設機械市場での中国需要減少への生産体制再構築

② 収益性改善課題

- ・ 為替変動と固定費削減による利益改善
- ・ 不採算事業撤退と事業ポートフォリオ見直し
- ・ セグメント利益150億円から380億円への向上が必要

③ 電動化・自動化対応

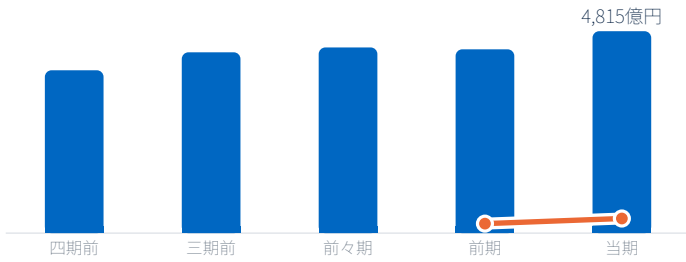
- ・ EV需要鈍化の中での技術開発継続
- ・ 自動運転化・無人化トレンドへの対応
- ・ 新領域進出とグローバル市場での競争力強化

面接で使えるポイント

- ・ 90周年を迎え100周年へ向けた成長戦略を描く中で、インド生産拠点設立など新市場開拓に挑戦
- ・ 知多鋼業を2025年5月に完全子会社化し、サプライチェーン強靱化と電動化対応を加速
- ・ 2023中期経営計画でTQM活用、売上高4,700億円・ROE12%以上の目標達成へ収益性改善を推進

証券コード 7242

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,815億円

営業利益率
7.3%

財務健康度
43点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 54.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
709万円

輸送用機器内 32位/82社

平均年齢
41.9歳

輸送用機器内 52位/83社

平均勤続
17.4年

輸送用機器内 42位/83社

女性管理職
3.3%

輸送用機器内 41位/72社

男性育休
96.0%

輸送用機器内 14位/69社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに
油圧緩衝器・油圧機器を主力製品とする自動車・輸送機部品メーカー

主力事業・セグメント

- 自動車部品ACOperation 72.5%
- Hydraulic部品HCOpe 26.1%
- Aircraft部品 1.4%

強み・特徴（公開データから）

- 連結売上高4,815億円の事業規模
- 平均勤続17.4年と定着率が高い
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【カヤバ株式会社】北米市場向けフルサイズピックアップトラック

